

正修  
佐澤太郎編纂  
尋常小學第二讀本  
上卷

讀  
一四  
三

図書 和図書 遡  
a 1 3 8 0 3 2 8 1 4 0 a  
福岡教育大学蔵書

T1A3  
10  
Sa99j



佐澤太郎編纂

修正

# 尋常小學第二讀本

明治二十年六月廿日

文部省檢定濟

東京

文榮堂藏版

尋常小學第二讀本

上卷



第一

ノ子ハ本ヲヨ

男

三ノ子

ハセキバン

トセキヒツ

トヲモテリ



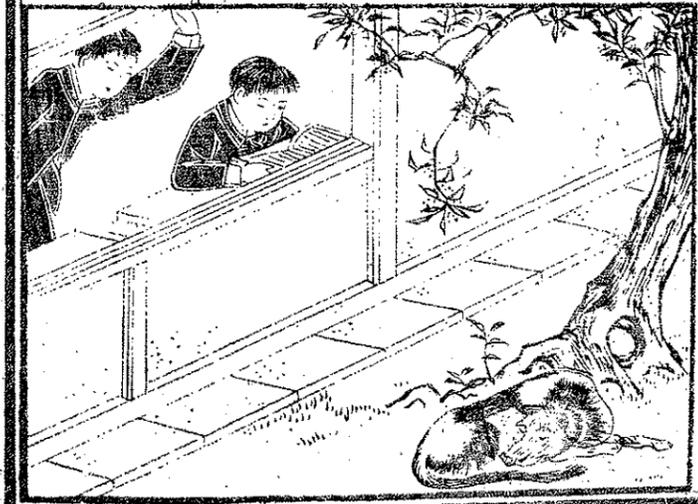
尋常小學

第二讀本

机 兒

第二

ここ。に。二人  
の。男。の。兒  
あり。一人。は。  
机。に。むかひ  
て。本。を。よ  
み。一人。は。



立

立ち。て。木。の。下。の  
犬。を。みる

第三

鳥 居 中

鳥。ハ。木。ノ。エ。ダ。ニ  
アリ。人。ハ。木。ノ。下  
ニ。居。リ。ウ。ヲ。ハ。イ。ケ  
ノ。中。ヲ。オ。ヨ。ゲ。リ。鳥

池

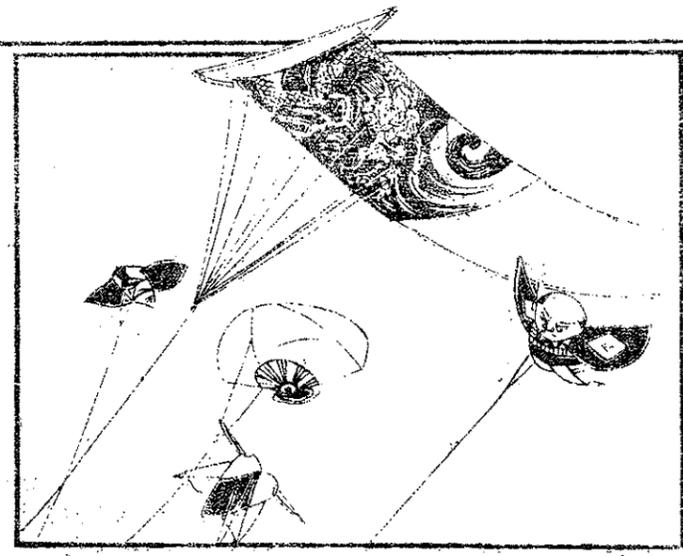
見

ハ。池ノ中  
ノウヲヲ  
トラン トシ。  
人ハ。木ノ  
エダノ鳥  
ヲ見ル。



第四

空心



あがれ のぼれ。大たこ 小

だこ あがる  
ものぼるも。  
心のまま  
に。空ふく  
かせの。かよ  
はんかぎり。

思 あがれよ のぼれ 思ひ

の まま に

第五

机 ノ 上 ニ

花 アリ 一人

小女 ノ 小女 ハ

コノ 花 ヲ



箱 見ル 箱 ノ 中 ニ ニン

ギヤウ アリ 又 一人 ノ

持 小女 ハ ソノ 箱 ヲ 持

テリ

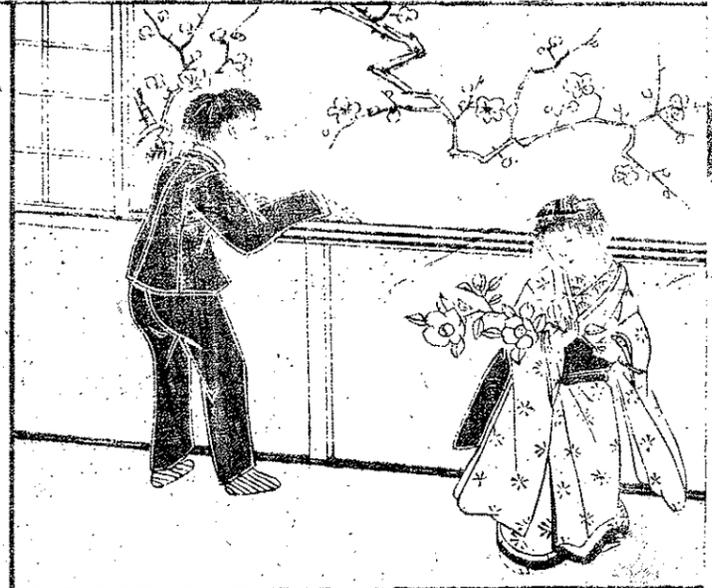
第六

男兒 男兒 は 白き 花 を 見

白 此 此 花 は 白し 此

梅女  
兒

椿



し  
これ  
は

椿の花は梅の花  
の梅の花は梅の  
花はなり。女  
はあか  
き花を  
持てり。ろの  
花はあか  
椿の花

なり

第七

此處ハ。イウ

多ホバナリ。多

子供クノ子供

アツマリテ

イロイロノ



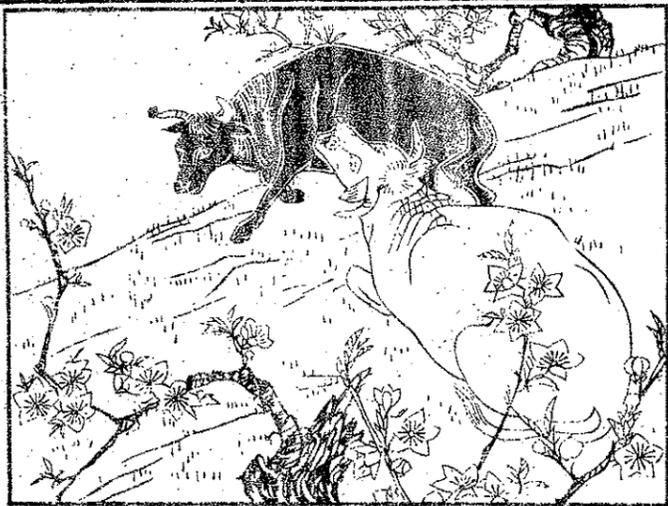
輪

リ	ナ	ヲ	ヲ	コ	ア
	ヨ	ツ	マ	ニ	ソ
	ク	ク	ハ	ノ	ビ
	タ	モ	ス	ル	ヲ
	ノ	ア	モ	モ	ナ
	シ	リ	ア	ア	セ
	ミ	テ	リ	リ	リ
	ア	ミ	マ	輪	ブ
	ソ	ニ	リ	ラ	ン
	ベ				

第八

牛。黒

ここに白き牛と。黒



歩

牛	此	牛	は	り。	き
は。	ふ	は	ふ	白	牛
大	した	歩	し。	き	と
に	る	め	黒	牛	あ
		り	き		

其

して。

其

歩める

牛

は。

小

第九

馬

大

ナル

馬

ア

リ。

此

馬

ハ。

汝

黒

シ。

汝

ハ。

大

ニ

シ

テ



好。

余

黒

キ

馬

ヲ

好

ム

カ。

余

ハ。

大

ニ

シ

テ

黒

キ

馬

ヲ

好

メリ

第十

長。

系

箱

の

上

に。

長

き

系

短

と

短

き

系

と

あ

り。

一

人

の

小

女

は。

長

き

系

卷を巻き。一人

の少女は。

短き糸を

持てり。此長

き糸は白

く。其短き

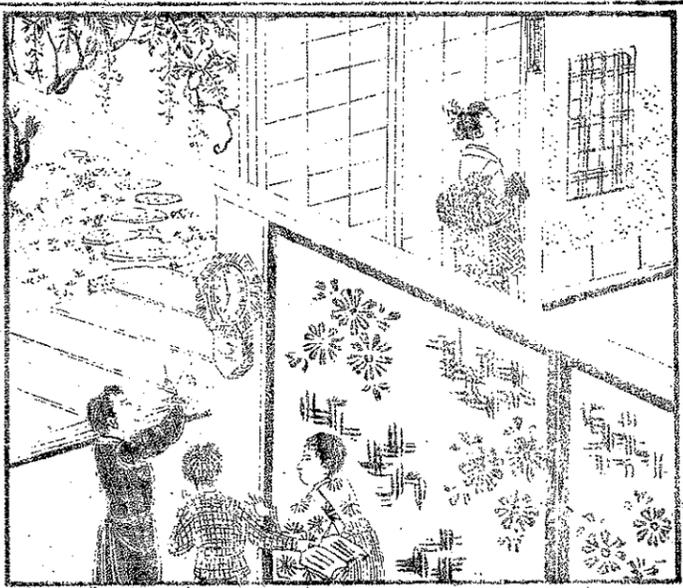
糸は赤し



柱

是

第十一



柱ニカケ

タルハト

ケイトカ

ンダンケイ

トナリ是

ハナニニ

用。時

用フル

ヤ。

トケイ

ハ。

時

ヲ

シリ。

カン

ダンケイ

ハ。

アツ

サ

サム

サ

ヲ。

モノ

ナリ

ハ。

ハカル

第十二

一人

の

子供

は。

本

筆

と

を

持ち。

又

紙

の

子供

は。

紙

と

ばん

と

を

持

て

り。

此

二人

は。

今

どこ

に

ゆ

く

と

思

ふ

學

校

や。

是

は。

學

校



行

校に行く

なり

第十三

數多。

數多ノ子供

皆

アリ。皆ボウ

ヲ持チテ。

テウレンノ



吹

マ子ヲセリ。其中一

人ハ。ラツバヲ吹キ。

先

一人ハ。夕ヲ持チ。

先ナル一人ハ。サシツ

第十四

何

汝は。何をみるか。

余は牛を  
 見る。一は  
 大にして。  
 一は小さし。  
 其小さき牛  
 は。水を飲  
 及。大なる牛  
 草飲



は。草を

食へり  
 第十五  
 鉛筆  
 トアリ。筆  
 太。鉛筆  
 ハ。細シ。男兒  
 ハ。筆ヲ採



字

リ。テ。大ナル。字。ヲ。力  
キ。女兒。ハ。鉛筆。ヲ。持  
チ。テ。小サキ。筆。ヲ。持  
ガケリ

第十六

片手

汝。は。片手。に。本。を  
持。ち。片手。に。筆。を。持

何方てり。何方を

みぎと。いひ

何方を。ひだ

り。と。いふ

や。余。が。筆

右。を。持。ち。た。る。手。は。右

に。し。て。本。を。持。ち。た。る



左 手 は 左 なり

第十七

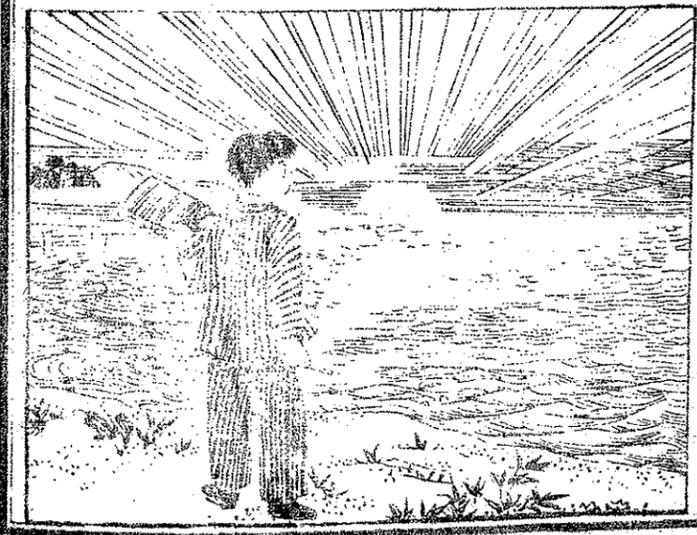
日 ノ 出ツル

東 方 ヲ 東 ト

イヒ。日 ノ

入ル 方 ヲ。

西 ト イフ



向

今 此 子 供 ハ 東 ニ

向 ヒ テ 日 ノ 出 ヲ

見 ル サレバ 其 筆 ヲ

南

持 チ タル 方 ハ 南 ニ

シテ 本 ヲ 持 チ タル 方

北

ハ 北 ナリ

第十八

思

思へや思へ

なべての子供

むくえやむくえ

ちちははの思

思をねもはぬ

人の子あらば

空とぶ鳥や

地を行くけもの

第十九

女児ハ猫

ヲ抱ケリ其

抱ケル猫ハ

白クシテ小

サシ男児ハ

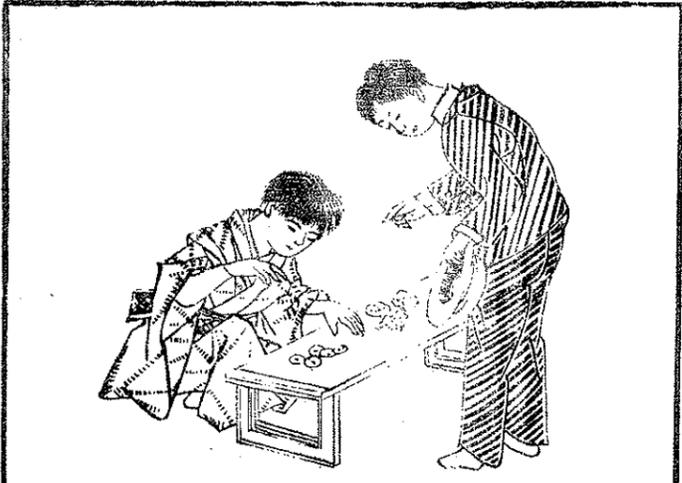


乗 犬ニ乗レリ。其乗レル  
犬ハ。黒クシテ大ナリ

第二十

石。豆 机の上。に。石と豆  
とあり。石は。大に  
數。少して 數。少く。豆は。小  
さくして 數。多し。汝

之



にして。豆の數は。

は。此石と  
豆と。の數  
をしれり。や。  
余は。之を  
しれり。石の  
數は。三つ

合 五つなり。此數を合

すればいくつと  
なるや

第二十一

學問ヲツト  
賢ムレバ賢キ



勉 人トナリ。勉メザレバ。  
愚ナル人トナル。余

ハ。賢キ人トナラン

トス。故ニ。勉メテ

故 讀 ヲ讀メリ

第二十二

彼處 此處に男兒あり。彼處

毬 羽子 投



うるか。余は毬を

に女兒あり。  
男兒は毬を  
なげ。女兒  
は。羽子を  
つけり。汝は  
毬を投げ

突

樹

投げうれども。羽子は  
突きほす

第二十三

此處ニ。大ナ  
ル樹アリ。  
是ハ。何ノ  
木ナリヤ。



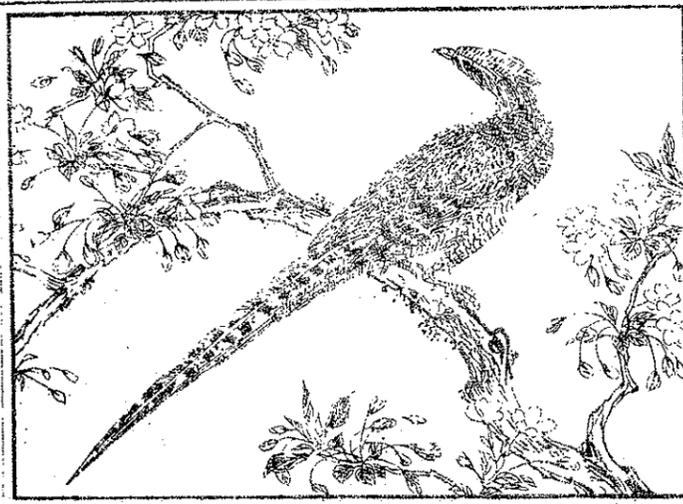
尋常小學科 第二卷 上

十七

三十一 毬 羽子 投

雉	第二	小學	尋常	書物	松
是	二	リ	讀ム	石	松
は	讀本	ヤ	其	ニ	ノ
雉	ナリ	是	書物	ヨリ	樹
なり	第二十四	ハ	ハ	テ	ナリ
や		尋常	何	書物	男兒
いな		小學	ナ	ヲ	ハ

山鳥。毛色。夫尾。



山鳥なり。毛色うつくしくして。尾すこぶる長し。夫はさくらなりやいな。かいたうなり。花の色。

長門、鳥、松、第一、詩、本、一

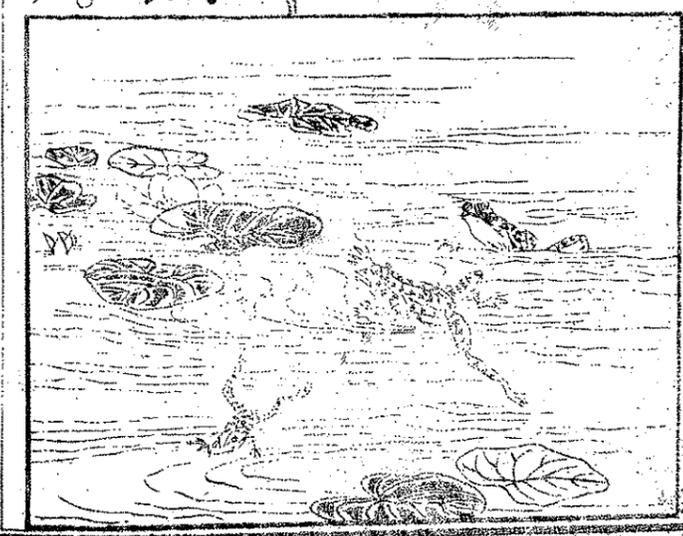
紅。形紅にして。形やや小

さし

第二十五

魚泳

水ノ中ヲ  
泳グモノア  
リ。夫ハ魚  
ナリヤ。イナ



蛙

蛙ナリ。蛙ハ魚ト

同

同ジク。水ノ中ヲ泳

然

グモノナリヤ。然リ。

陸

魚ト同ジク。水ノ中

亦

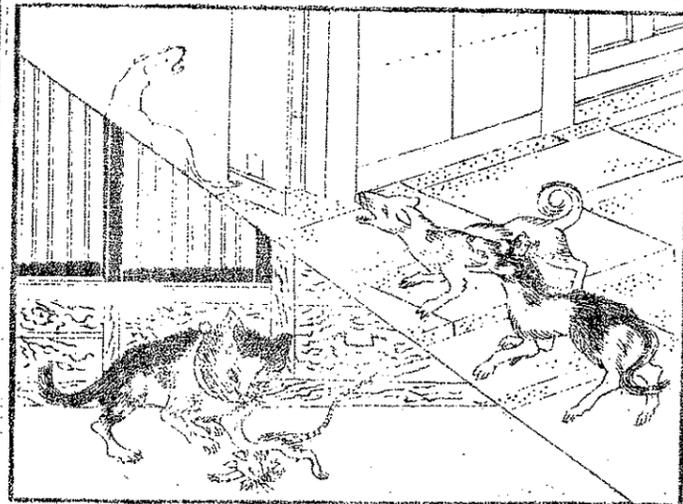
ヲ泳グドモ。陸ニモ

亦

スムモノナリ

第二十六

捕 若 各



犬と猫とは人に

やしなはる。皆  
各其つとめ  
をなせは  
なり若し猫  
にしてねず  
及び捕らず

飼 守 門

犬にして門を守ら  
ざれば人之を飼は  
ず

第二十七

彼 家 稻

稲農稲  
家忙シ  
彼ハ朝ヨリ稲  
刈リ是ハ夕マデ

刈。夕持チ運ビ。疲

運。疲レモイトハズ。ハタラケリ。骨折農家ノ骨折

思フベシ

第二十八

善常。善き人は常に善き



友交 聞事 益



友と交れば見るもの  
聞くもの皆  
善き事はか  
りなりされ  
ば益善き

人となるなり

第二十九

兵隊此ハ兵  
調練ノ調練  
所スル所ナリ  
敵兵隊ハ敵  
防國ヲ防ギ國  
ヲ守ルモノ



汝等ナリ汝等モ成長ノ  
成長ノチ兵隊トナリテ  
我が國ヲ守ルベシ

第三十一

すめらみくにの  
武士は  
いかなる事をか

武士  
いかなる事をか

務 務むづき

唯身唯身に もてる

まごころを

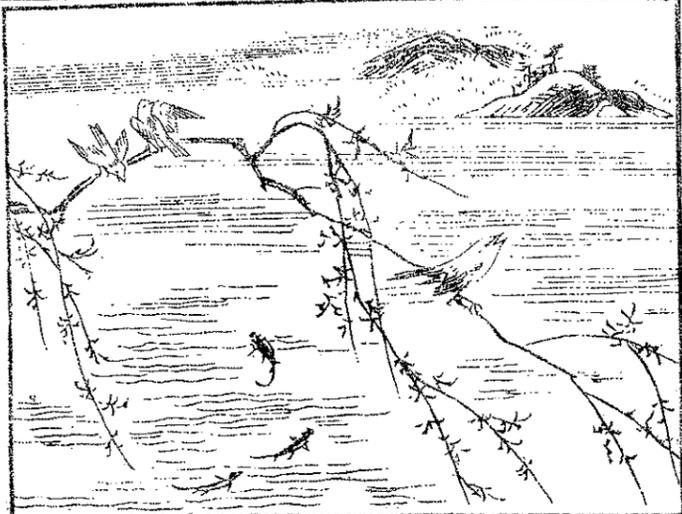
大君。あが 大君に

盡す まで

第三十一

春面春ノケシキハ面白シ

白。風。和。清



開 歌 躍 景色

春

景色

ハ面白シ

風 和カニ

シテ。水 清ク。

山ハカスミ

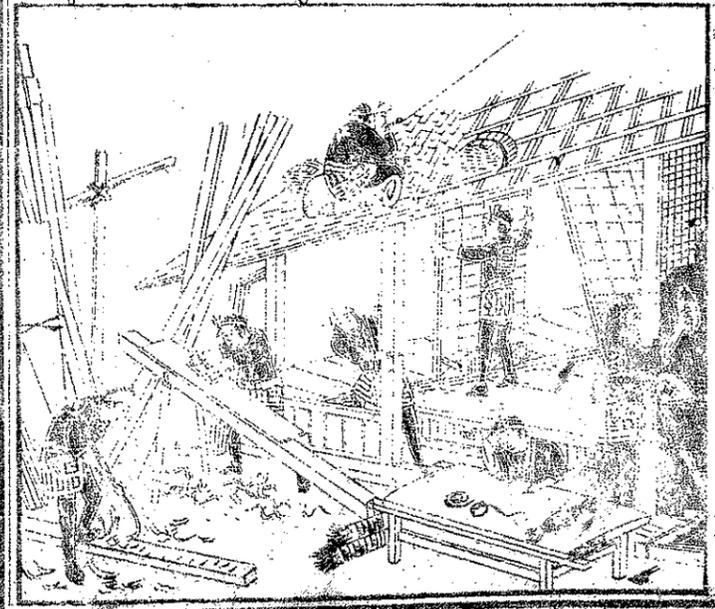
テ。花 開キ。

鳥ハ歌ヒ

テ。魚 躍ル。

第三十二

戸	建具屋。	屋根屋。	家	大工
は	き。	屋根	をつくり。	は。
戸	建具屋	を	ふ	家
し				
や				



造  
うじ などを つくる。又  
たたみ を 造る もの を  
たたみや と いへり。然ら  
ば。かべ を ぬる もの  
は。何 と 云ふ か  
云

第三十三

女本男兒机立鳥居中池見心空

思花小女箱持男兒白此梅女兒  
椿此處多子供輪牛黑步其馬汝  
好余長系短卷赤柱是用時筆紙  
今學校行數多皆吹先何飲草食  
鉛筆太細採字片手何方右左東  
西向南北恩地猫抱乘石豆數少  
之合學問賢勉愚故讀彼處毬羽

子投突樹松書物尋常小學第二  
雉山鳥毛色尾夫紅形泳魚蛙同  
然陸亦各若捕門守飼稻農家忙  
朝刈夕運疲骨折善常友交聞事  
益兵隊調練所敵防國汝等成長  
我武士務唯身大君盡春面白風  
和清開歌躍景色大工家屋根屋

尋常小學科  
第一讀本  
建具屋戶造云。

尋常小學第二讀本 上卷終

社会科

明治二十一年六月廿六日 印刷  
同 年七月二日 修正出版  
同 十九年十月廿一日 版權免許

定價七錢

編輯者 廣島縣士族 佐澤太郎

發行者 茨城縣士族 關谷末松

印刷者 東京府平民 江川八左衛門

賣捌所 東京市橋區本町三丁目 文榮堂

大賣捌所 福岡縣福岡區下名島町 文館

文部省檢定済

明治二十一年六月廿六日

明倫彙編  
七 8  
柳川集